西南学院大学

ビジョン

未来を照らす“Good School”を目指して

西南学院は創立以来、最善の教育を行う“Good School※”であり続けるために力を注いできました。

現代社会において、世界を取り巻く諸課題の解決のためには、科学技術の基礎となる理系的知と、社会や文化を形作っている文系的知を総合的に扱う必要があります。また、それら文理を横断する総合的な知を人々の幸福のために生かす価値観と倫理観が必要不可欠です。

西南学院大学は、2026年度からの12年間において、高度な専門的知識・技能とこれからの時代に必要な汎用的な知を紡ぎ、互いの個性を賜物として認め合い、確かな倫理観に基づいて新たな価値を創造し、国際社会や地域社会が抱える様々な課題解決に積極的に取り組むことのできる、世の光となる人を育てることに教職員が力を合わせて、これまで以上に邁進します。

そして、西南学院大学は、最高学府が遂行すべき高度な学問研究に、建学の精神“Seinan, Be True to Christ”（西南よ、キリストに忠実なれ）に基づく人格形成を結び付けた、質の高い教育を行う“Good School”として未来を照らし続けることを目指します。

※“Good School”は、戦時中に西南学院において重要な働きをなされた波多野培根氏が1920年9月の中学部就任の際、ドージャー院長から語られたとされる“It is our purpose to make a good school, not a big one”という言葉の一部を引用したもの。第7代理事長の杉本勝次氏が1947年9月15日発刊の西南学院新聞において「故シーケードージアー（原文ママ）先生も、Big school ではなくGood school たらしめねばならぬと常に語られたことであったが、この精神は変へてはならぬと思ふ」と語っている。

大学KGI

- 卒業時調査における、【大学ビジョンに掲げる人間像に近づいたか】に関する設問について、肯定的な回答割合80%以上

大学KGI　…大学ビジョンの達成状況を客観的に評価するための指標。
領域KGI　…領域ビジョンの達成状況を客観的に評価するための指標。
※KGI　…Key Goal Indicatorの略。